



せい しん つう しん  
**聖 心 通 信**

**札幌聖心女子学院**

校長 阿部益太郎

第8号 2018年10月31日

〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10番1号  
 URL <http://www.spr-sacred-heart.ed.jp>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667(職員室直通)  
 FAX 011-612-0980

# Congratulations!!

- ◎ 後藤新平・新渡戸稲造記念  
 第20回全国高校生・留学生作文コンクール  
 奨励賞 高1-G 伊藤 初音さん
- ◎ 第64回札幌市読書感想文コンクール  
 札幌市教育長賞 高3-S 瀧田 小麦さん  
 札幌市学校図書館協議会会長賞  
 高3-S 須藤 あまねさん  
 札幌市PTA協議会会長賞  
 高3-S 竹内 萌乃さん  
 北海道高等学校PTA連合会石狩支部長賞  
 高3-S 大久保 絵未さん  
 優良賞 高3-G 中村 理峰さん  
 優良賞 中1-S 西 恵里奈さん
- ※ なお、札幌聖心女子学院高等学校として学校賞をいただきました!
- ◎ 第86回全国書画展覧会 中学校の部 書写の部  
 特選 中1-S 杉本 磨子さん  
 特選 中2-G 北嶋 遥香さん  
 特選 中2-S 吉田 桜さん
- ※ 3名の作品は図書館に掲示中です。  
 ほか、中学生36名が金賞を受賞しています!
- ◎ 第13回北海道小・中・高校生短歌コンテスト  
 優秀賞 高3-S 瀧田 小麦さん  
 冬ざれの西日に向かい命乞い  
 季節逸れたとんぼ地を這う
- ◎ 第10回「私の志」小論文・スピーチコンテスト  
 佳作 高3-G 伊原木 理紗さん

10月はマリア様の月でした。宿泊行事や修養会を経て、生徒達は友人との絆を強めるとともに、自分の心と向き合い、考えを深められたようです。冬の足音が近づいてきています。11月は亡くなった方を思う月です。2日の追悼ミサで、心を合わせお祈りしたいと思います。

## 11月の行事予定



	行事	お弁当
1(木)	中学朝礼 高1・高2 進研模試(1~6校時、終了後下校) ※ 高2-Gのみ5・6校時通常授業	要
2(金)	高校朝礼 追悼ミサ(6・7校時)	要
3(土)	文化の日	
4(日)	英検②二次試験	
5(月)	授業研究ウィーク(~11/17)	
6(火)	全校朝礼 母の会聖書サークル(10:30~、Sr.田口) 中2-G グローバルスキルズ(7校時) 中2-S ソフィアサイエンスクラブ(7校時)	要
7(水)	高1・高2 小論文講習③(7校時) 寄宿インフルエンザ予防接種② SOFIS DAY	要
8(木)	中学朝礼	要
9(金)	高校朝礼	要
10(土)	中学学力推移調査(1~3校時) 高1・高2 小論文講習④(3校時) NY国連研修事前学習(12:30~) 東京地区説明会(14:00~15:30、聖心女子大学) 羽田会(10:30~、聖心女子大学)	※
11(日)	小6対象入試対策講座(9:00~12:30)	
12(月)		要
13(火)		要
14(水)	中2-G グローバルスキルズ(7校時) 中2-S ソフィアサイエンスクラブ(7校時) 課題研究ミーティング⑥	要
15(木)	中学朝礼	要
16(金)	聖フィリピン・ドウ・シェーン祝日朝礼(全校朝礼) 母の会パン販売 寮のある学校合同相談会 横浜 (13:00~18:00、崎陽軒本店6F)	要
17(土)	寮のある学校合同相談会 東京 (13:00~17:00、フラクシア東京ステーション)	※
18(日)	聖フィリピン・ドウ・シェーンのお祝い	
19(月)		要
20(火)	母の会聖書サークル(10:30~、Sr.井出)	要
21(水)	梅干し弁当募金⑥	要 (梅弁)
22(木)		要
23(金)	勤労感謝の日	
24(土)	家庭学習	
25(日)		
26(月)	後期中間考査 高校①/中学①	※
27(火)	後期中間考査 高校②/中学②	※
28(水)	後期中間考査 高校③/中学③ 後期中間考査 高校④	※
29(木)	中学特別プログラム(中1哲学講座) 高1手話選択者 高等聾学校との交流会	※
30(金)	高3家庭学習	要

※ 必要な人は昼食をご用意ください。

## 梅干し弁当募金

10月24日(水)に行われた梅干し弁当募金では、**総額 64,331円**を寄付していただきました。(なお、このうち10,000円は、図書委員会より聖ソフィア祭の古本市での売上げの一部を寄付していただいたものです。)日本赤十字社にお送りし、北海道胆振東部地震で被災した方々への支援に役立てていただきます。ご協力ありがとうございました。

## 人間関係ミーティング「職場におけるハラスメント」



10月3日(水)、札幌法務局人権擁護部の白水方子さんを講師にお迎えし、人間関係ミーティングが行われました。職場におけるハラスメントの中でも特に相談の多い「パワハラ」「セクハラ」「マタハラ」について詳しくご説明いただきました。どのような言動がハラスメントに当たるか、被害者・加害者にならないためにはどうすればよいかなど、仕事や生活をしていく上での環境作りに大切なことを教えていただきました。

## あしなが学生募金ボランティア

10月28日(日)、晴れたり曇ったり冷たい雨が降ったりと変わりやすい天気の中、高校生18名が札幌市中心部であしなが学生募金ボランティアに参加しました。雨に濡れて冷え切ってしまう、口もうまく回らなくなりながらも、最後まで大きな声で募金を呼びかけました。卒業生の保護者の方、学校の近くにお住まいの方などに声をかけていただくなど、温かいご支援をいただきました。この活動を通して、誰かのために働くことが結局は自分のためにもなっていることに気づかされます。



## 今月の聖句

はっきり言っておく。心を入れ替えて  
子供のようにならなければ、決して天国に入ることは  
できない。自分を低くしてこの子供のようになる人が、  
天の国でいちばん偉いのだ。

マタイによる福音書 18章 3節~4節

「聖心の教育には科学を教える独特の方法があります。……生徒は科学者であり、同時に自分が目の前に展開していく偉大な神秘の一部であると知っている神秘家でもあります。」毎年、国連研修生を引率して下さるシスターホッフエルが来校され、そのお話の中でホームステイや交流でお世話になるニューヨークの聖心の校長、チャンカリーニ博士の言葉が紹介された時、心に響くものがありました。

9月、大型台風が通り過ぎた翌日、未明の大きな地震に見舞われた際、40時間に及び停電が復旧してテレビ画面に映し出されたドローンの映像、山肌のいたるところに残る地滑りの爪痕を見て、大自然の威力と比べ、私たち人間があまりに小さな存在であることを感じました。「地球を征服した。自然を凌駕した。」などという傲慢さを捨て、自分を低くし、謙遜に生きること、自然の神秘の中で生かされている自分に、あらためて気づくよう導かれた災害でした。この神秘の中で生かされているという気づきを忘れずに地球の未来のためにどう生きるかについて生徒たちと共に考え、目指す「共生の教育」を実践していきたいと願っております。

[校長 阿部益太郎]